

# こころとからだの健康についての国民意識の実態に関する調査

## 結果まとめ

竹島正<sup>1</sup>，小山明日香<sup>1</sup>，小山智典<sup>1</sup>，沢村香苗<sup>2</sup>，立森久照<sup>1</sup>，長沼洋一<sup>1</sup>  
八木奈央<sup>3</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経センター精神保健研究所

<sup>2</sup>医療経済研究機構研究部

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科

### A. 背景

平成 16 年 9 月に厚生労働省精神保健福祉対策本部の示した「精神保健医療福祉の改革ビジョン」では、「『入院医療中心から地域生活中心へ』というその基本的な方策を推し進めていくため、国民各層の意識の変革や、立ち後れた精神保健医療福祉体系の再編と基盤強化を今後 10 年間で進める」との基本方針が示された。この中で、国民意識の変革については、「精神疾患を正しく理解し、態度を変え行動するという変化が起きるよう、精神疾患を自分自身の問題として考える者の増加を促す」という考え方から、おおむね 10 年後を目標にして、「精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気であることについての認知度を 90%以上とする」という達成目標が示されている。

全国精神障害者家族連合会が平成 9 年に実施した調査によると、「激しく変化する現在社会では誰でも精神障害者になる可能性がある」との問いに、「そう思う」と答えた者が 51.8%、「どちらともいえない」と答えた者が 33.0%と報告されている。しかし、「精神医療福祉の改革ビジョン」が提示された時点での、地域住民の精神障害についての意識や知識の実態は明らかになっていない。また「精神医療福祉の改革ビジョン」において、「生活習慣病と同じく誰もがかかりうる」との文言が記述されているが、そもそも生活習慣病について国民がどのように正しく理解しているかは明らかとなっていない。これらのデータは達成目標を評価する際のベースラインとして必須のものである。

### B. 目的

「精神医療福祉の改革ビジョン」が提示された時点での、地域住民の精神障害についての意識や知識の実態を明らかにする。

### C. 研究方法

#### 1. 対象

##### (1) 対象地域

東京 23 区，政令指定都市・中核市・政令市を抽出し，リストを作成した。

このリストから、平成 17 年国勢調査による人口をもとに 1,000 万人間隔で、調査地域の中心となる自治体を 5 カ所抽出した。抽出のスタート地点はランダムに選出した結果、札幌市が選出された。この 5 カ所の自治体を含む 5 つの調査地域（道央，東京，京浜，京阪，および山陽）を設定し，それぞれの調査地域から 10 カ所ずつを調査地点として選出した（表 1）。

## （2）調査対象者

研究の対象は，この調査地点の地域住民から選ばれた 20 歳以上 70 歳未満の地域住民とし，1 調査地域につき 400 人，合計 2,000 人の有効回答を得る規模とした。

対象者の抽出には調査対象地域および地点のみを指定する「エリアサンプリング」を採用した。調査地点内にスタートポイント（調査開始位置）を任意で 5 カ所設定した（調査地域合計 50 スタートポイント=5 スタートポイント×10 調査地点）。これらのスタートポイントより，調査に協力を得られる方を探しはじめる。調査対象者の居宅はそれぞれ 10 軒以上離れることとし，集合住宅の場合は，1 棟あたりの調査対象者は，30 世帯につき 1 名とし，調査対象者の居宅の階層が 3 階以上離れることとした。

## 2. 調査票

依頼状と調査票を資料 1 および 2 に示した。調査票は大きく分けて 4 つの部分から構成される。

### （1）人口統計学的特徴

人口統計学的特徴は，性別，年齢，学歴等について尋ねている。

### （2）精神障害のビネット（事例）

まず冒頭で精神障害のビネット（事例）を 1 つ提示し，それを読んだ後に，何の問題だと思いか，原因，転帰，適切な対処方法，治療法や薬の効果，専門家の援助の効果，情報収集先，有病率，ビネットに対するイメージ，スティグマなどについて尋ねた。

本研究では，統合失調症，大うつ病性障害，広汎性発達障害，アルコール依存の 4 つの精神障害についてのビネットを使用した 4 種類の調査票を用いて調査を行った。本研究で使用したビネットを資料 3 に示した。なお，ビネット「3. 広汎性発達障害」については，障害を有してしている者が A さん本人ではなくその子どもの C ちゃんになっているため，質問紙の B の部分の文言をそれにあわせて若干変更する必要があるが，そのバージョンの質問紙はスペースの都合上掲載をしていない。

### （3）生活習慣病のビネット（事例）

精神障害のビネット部分と同様に冒頭でビネットを提示する。ただしここでのビネットは，生活習慣病を代表して糖尿病のビネットを提示し，精神障害と

対比するために、精神障害の部分と同じ形式で同じ項目（ビネットに対するイメージ、スティグマは除く）を尋ねている。

#### （４）「こころのバリアフリー宣言」等に基づく全般的知識

「こころのバリアフリー宣言」などの内容をもとにした精神障害，こころの健康，うつ病などについてより全般的な知識を尋ねた。

### 3. 方法

調査は2007年の前半に訪問面接法で実施された。調査員が対象者宅を訪問し，あいさつ状を手渡すとともに調査の趣旨説明を行い，調査協力の承諾が得られたら調査を開始し，終了後お礼を述べるとともに謝礼を手渡す形式で行われた。

各対象者は先に述べた4種類の調査票のうち1種類を無作為に割り当てられる。表2, 3に示したように，それぞれのビネットについての有効回答数が各性・年齢層で等しくなるようにした。

#### （倫理面への配慮）

国立精神・神経センターにおいて倫理審査を申請し，実施の承認を得た。

### D. 研究結果

全調査項目の集計結果を表1から90に示した。以下ではこれら集計結果から主要な部分を抜粋してその概要を記載した。

#### 1. 対象の属性

対象者合計2,000人の居住する地域は，道央，東京，京浜，京阪，山陽の五ヶ所であり，各400人（20.0%）であった（表1）。性別は，男女各1000人（50.0%）（表2），年齢は，20～60歳代の10歳毎の各年代において，それぞれ400人（20.0%）であった（表3）。最終学歴は，高卒が899人（45.0%）と最も多く，次いで大卒以上が454人（22.7%），短大・専門学校卒が433人（21.7%）であった（表4）。日本国民における現在の自分自身の位置は，5が648人（32.4%）と三分の一を占めており，次いで6が464人（23.2%），7が296人（14.8%）であった（表5）。

#### 2. 各事例についての質問

各ビネットについて，Aさんにどのような問題があるかと尋ねたところ，統合失調症では「うつ病」と回答した者が193人（38.6%）と最も多く，次いで「こころの病気」が107人（21.4%）であった。「統合失調症」と回答したのは24人（4.8%）であった。うつ病については，「うつ病」と回答した割合が293人（58.6%）と最も高く，ついで「ストレス」87人（17.4%），「こころの病気」

77人(15.4%)であった。広汎性発達障害ビネットでは、「自閉症」「発達障害」と回答した割合がそれぞれ229人(45.8%),71人(14.2%)と高かった。アルコール依存では、「アルコール依存」と回答した割合が425人(85.0%)と最も高かった。糖尿病については、「糖尿病」と回答した割合が1,749人(87.5%)と最も高かった(表6)。

Aさんの状態の原因が何だと思うか尋ねたところ、統合失調症・うつ病・アルコール依存では「ストレス(80.4-85.2%)」「本人の性格(57.2-67.4%)」「気の持ちよう(22.6-40.8%)」「社会環境(26.4-41.2%)」などの回答が多かった。広汎性発達障害では「脳の異常(193人,38.6%)」「親の育て方(174人,34.8%)」「本人の性格(172人,34.4%)」などの回答が多かった。糖尿病については、「食生活(1,760人,88.0%)」「運動不足(1,240人,62.0%)」「遺伝(747人,37.4%)」などの回答が多かった(表7)。

最も適切と思う専門家の援助を受けた場合、今後の状態がどうなるかとの問いに対しては、すべてのビネットについて「生活上の支障がない程度までは回復する(46.8-61.8%)」との回答が最も多かった(表8)。

専門家の援助を受けなかった場合、今後の状態がどうなるかとの問いに対しては、すべてのビネットについて「悪化する」との回答が最も多かった。アルコール依存と糖尿病では「悪化する」が80%弱であったが、統合失調症とうつ病では約60%、広汎性発達障害では33.4%であった(表9)。

Aさんにとっての適切な対処方法は何だと思うかという問いに対しては、4つの精神障害では「精神保健の専門家に相談する(60.8-69.0%)」との回答が最も多かった。それ以外では、統合失調症では「周りの人に相談する(245人,49.0%)」「積極的に体を動かす(184人,36.8%)」、うつ病では「休息する(224人,44.8%)」「周りの人に相談する(198人,39.6%)」、広汎性発達障害では「同じ状態を抱える人たちの集まりに参加する(246人,49.2%)」「外出を増やす(184人,36.8%)」、アルコール依存では「積極的に体を動かす(257人,51.4%)」「同じ状態を抱える人たちの集まりに参加する(195人,39.0%)」が多かった。糖尿病では「家庭医に相談する(1,688人,84.4%)」「積極的に体を動かす(1,575人,78.8%)」「自分の力で対処するよう努力する(577人,28.9%)」が多かった(表10)。

現在の状態についての情報入手経路について、4つの精神障害に共通して多かったのは「インターネット」,「家族,友人,知人」,「民間の相談機関」であった。「インターネット」は、それぞれ統合失調症251人(50.2%),大うつ病性障害233人(46.6%),広汎性発達障害248人(49.6%),アルコール依存229人(45.8%)であった。「家族,友人,知人」は、それぞれ統合失調症231人(46.2%),大うつ病性障害252人(50.4%),広汎性発達障害149人(29.8%),アルコール依存189人(37.8%)であった。「民間の相談機関」は、それぞれ統合失調症

193人(38.6%), 大うつ病性障害 158人(31.6%), 広汎性発達障害 194人(38.8%), アルコール依存 208人(41.6%)であった。また、広汎性発達障害においては、「公的相談機関」が225人(45.0%)と多かった(表28)。

日本における同じような状態の人の出現率についての回答として最も多かったのは、それぞれ、統合失調症「約1%」が220人(44.0%), 大うつ病性障害「約1%」が222人(44.4%), 広汎性発達障害「約1%」が208人(41.6%), アルコール依存「約1%」が210人(42.0%), 糖尿病「約1%」が779人(39.0%)であった(表29)。

これから先の人生で自分が同じような状態を経験する可能性についての回答として最も多かったのは、それぞれ、統合失調症「低い」が146人(29.2%), 大うつ病性障害「どちらとも言えない」が135人(27.0%), 広汎性発達障害「低い」が128人(25.6%), アルコール依存「まったくない」が144人(28.8%), 糖尿病「高い」が715人(35.8%)であった(表30)。

家族や親しい友人が同じような状態を経験する可能性についての回答として最も多かったのは、それぞれ、統合失調症「高い」が146人(29.2%), 大うつ病性障害「高い」が207人(41.4%), 広汎性発達障害「低い」が145人(29.0%), アルコール依存「低い」が146人(29.2%), 糖尿病「高い」が1000人(50.0%)であった(表31)。

### 3. 精神障害との関わり

これまでに精神科・神経科・心療内科で治療を受けたことがあると回答した人は150人(7.5%)であった(表63)。

家族や親戚や親しい友人に精神科・神経科・心療内科で治療を受けた人がいると回答した人は649人(32.5%)であった(表64)。

保健・医療・福祉の専門家として精神障害者に関わった経験があると回答した人は125人(6.3%)であった(表65)。

精神疾患を持つ疑いのある人が関わった事件を伝えるニュース、新聞記事、雑誌記事などをみたことがあると回答した人は1,872人(93.6%)であった(表66)。

精神疾患についての情報入手経路において、最も多かったのは「テレビ」の1,856人(92.8%)で、次いで「新聞」1,551人(77.6%), 「雑誌」740人(37.0%)であった(表67)。

### 4. 「こころのバリアフリー宣言」等に基づく全般的知識

「こころの健康」について、「関心がある」、「やや関心がある」と回答した人は、それぞれ711人(35.6%), 930人(46.5%)であった(表68)。

精神疾患を自分の問題として考えているかという問いに対して回答が多か

ったのは「あまり考えていない」604人(30.2%)、「やや考えている」580人(29.0%)であった(表69)。

精神疾患の予防には、ストレスにうまく対処し、ストレスをできるだけ減らす生活を心がけることが必要だと思ふかという問いに対して最も回答が多かったのは「そう思う」が1,335人(66.8%)で、次いで「ややそう思う」が554人(27.7%)であった(表70)。

あなたのこころの不調に早い段階で気づくことが大事だと思ふかという問いに対しては「そう思う」が1,464人(73.2%)と最も多く、次いで「ややそう思う」が460人(23.0%)であった(表71)。

不眠や不安などの症状が出ておかしいと思ったら専門家に相談しようと思ふかという問いに対して回答が多かったのは「ややそう思う」が708人(35.4%)、「そう思う」が604人(30.2%)であった(表72)。

精神疾患にかかった場合、病気を正しく理解し、焦らず時間をかけて克服しようと思ふかという問いに対して最も回答が多かったのは「そう思う」が1,260人(63.0%)で、次いで「ややそう思う」が611人(30.6%)であった(表73)。

精神疾患にかかった場合、家族や周囲の過干渉、非難は回復を遅らせると思ふかという問いに対して回答が多かったのは「そう思う」が1,028人(51.4%)、「ややそう思う」が619人(31.0%)であった(表74)。

精神疾患は早期に適切な治療や支援を受ければ多くは改善すると思ふかという問いに対して回答が多かったのは「そう思う」が1,094人(54.7%)、「ややそう思う」が729人(36.5%)であった(表75)。

こころの健康や精神疾患について理解を深めることのできる市民講座などがあれば参加しようと思ふかという問いに対しては「ややそう思う」が641人(32.1%)、「あまりそう思わない」が482人(24.1%)、「どちらともいえない」が428人(21.4%)であった(表76)。

精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気だと思ふかという問いに対して「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人は、それぞれ927人(46.4%)、719人(36.0%)であった(表77)。

働き盛りの男性、産褥期の女性、退職後の男性、更年期の女性に対してうつ病にかかりやすいと思っている人はそれぞれ6から7割存在した(表78-81)。また女性に対しては「男性と違いはない」と回答した人が1,167人(58.4%)と最も多かった(表82)。

言葉の印象について重症であると感じる順番において、「精神病」を1位とした人は1,292人(64.6%)、「こころの病」を4位とした人は1,802人(90.1%)であった。また、受け入れやすいと感じる順番において、「こころの病」を1位とした人は1,814人(90.7%)、「精神病」を4位とした人は1,336人(66.8%)であった(表83-90)。

## 「こころとからだの健康についての国民意識の実態に関する調査」

### ご協力をお願い

本調査は、地域に暮らす方々がこころやからだの病気についてどのような知識や印象を持っているかを明らかにし、こころとからだの健康づくりに役立てていくことを目的としております。

以上の目的のために、この地域にお住まいの方から無作為に選ばれた方々に調査へのご協力をお願いさせていただいております。

本調査で得られた皆様のご回答はすべて統計的に処理され、上述の目的においてのみ使用されます。結果の公表の際には、統計的に処理された集計として公表され、個人の回答が特定されることはなく、個人を特定できる情報が公開されることもございません。

調査へのご協力の同意をいただいた後でも、いつでも協力を中止することは可能です。協力を拒否または中止した場合においても、本件に関連した不利益は生じません。

以上を良くお読みいただき、内容をご理解の上で本調査への参加に同意いただける場合は、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、この調査は無記名で実施するため、個別の結果をお返しすることはできないことをご了承願います。本調査の全体の結果は報告書としてまとめられ、その概要は本調査のウェブページ (<http://www.ncnp.go.jp/nimh/keikaku/ishiki/index.html>) に公開する予定となっています。

調査実施は株式会社山手情報処理センターに委託しておりますので、ご不明な点がございましたら何なりとお申し付けください。

最後になりますが、ご協力していただいたお礼として、心ばかりのものです。謝礼を用意させていただきました。ご査収ください。

**【調査研究主体】** 国立精神・神経センター精神保健研究所精神保健計画部  
〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1  
部長 竹島 正

**【調査実施】** 株式会社山手情報処理センター  
「こころとからだの健康についての国民意識の実態に関する調査」実施事務局  
問い合わせ先 〒114-0015 東京都北区中里 2-18-5  
TEL : \*\*\*\*\* (二村, 高橋)

資料 2

整理番号	1			
------	---	--	--	--

A. あなたご自身のことについてお伺いします。それぞれの質問のあてはまる番号に○をつけるか、\_\_\_\_に数字をご記入ください。

1) あなたの性別はどちらですか。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

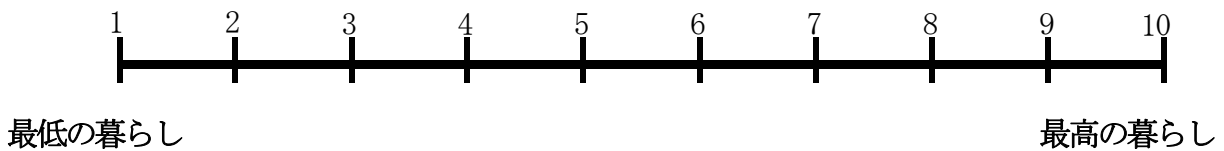
2) 今の年齢をご記入ください。満年齢でお願いします。

満_____歳
---------

3) あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は「在学中」のみを選択してください。

1. 中卒	2. 高卒	3. 短大・専門学校卒
4. 大卒以上	5. 在学中	
9. その他 ( )		

4) 下の図は日本国民の位置を示しています。日本に暮らす他の人々と比べると現在あなたがいると思われる位置の番号に○をつけてください。



B. 下記の太線で囲まれた文章を読んで、次ページから始まる1) から12) までの質問にお答えください。

Aさんは23歳です。どちらかといえばおとなしい性格で、これまで  
学業や人間関係において大きな問題をおこすことはありませんでした。  
昨年大学を卒業し、会社に就職しました。入社してまもなく、仕事  
のことで上司に叱られて落ち込むことが何度かありました。また、就職  
を機にはじめて一人暮らしに慣れずに生活が乱れたこともあり、Aさんは  
よく眠れなくなってしまいました。次第に仕事の能率が悪くなり、周りの  
人々が自分によそよそしいと感じるようになりました。  
数カ月すると、一人で部屋にいるとAさんの悪口がどこからともなく聞  
こえてくるようになりました。また、誰かに見張られていると思い込み、  
盗聴器が備え付けられていないか部屋中を探し回るなどの行動がみられ  
ました。実際はそのような事実はないのですが、Aさんは強く信じて疑  
いません。会社でも、自分がミスをする度にそれをからかったり、指図し  
たりする声が聞こえてくるので、Aさんは会社の皆から馬鹿にされている  
のだと思い込み、仕事の能率もさらに悪くなってきたので、会社を辞め  
てしまいました。  
最近では部屋の中はひどくちらかっていて、同じ服を何日も着ている  
ことがあります。本人は気にしていません。  
なお、Aさんはこれまで違法な薬物を使用した経験はありません。

資料 2

1) あなたは、Aさんにはどのような問題があると思いますか。最も適切に問題を表現していると思うものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 問題なし	2. 高血圧	3. がん	4. 糖尿病
5. うつ病	6. 統合失調症	7. 神経症	8. 自閉症
9. アルコール依存	10. 精神疾患	11. 知的障害	12. 発達障害
13. ストレス	14. こころの病気	15. からだの病気	
98. わからない	99. その他 (		)

2) あなたは、Aさんの状態の原因は何だと思いますか。あなたが原因と考えるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 感染症	2. アレルギー	3. ストレス	4. 遺伝
5. 本人の性格	6. 親の育て方	7. 出生時のトラブル	
8. 食生活	9. タバコ	10. アルコール (お酒)	
11. 運動不足	12. 睡眠の問題	13. 脳の異常	14. 気の持ちよう
15. 最近経験したショックな出来事	16. 社会環境		
17. 原因は特にない	98. わからない		
99. その他 (			)

3) 次の場合Aさんの今後の状態はどうなると思いますか。あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

a) あなたが最も適切と思う専門家の援助を受けた場合

1. まったく問題のない状態に回復する
2. 生活上の支障がない程度までは回復する
3. 回復はするが、生活上の支障が残る
4. 変化なし
5. 悪化する

b) 専門家の援助を何も受けなかった場合

1. まったく問題のない状態に回復する
2. 生活上の支障がない程度までは回復する
3. 回復はするが、生活上の支障が残る
4. 変化なし
5. 悪化する



資料 2

5) 以下にあげるような薬や治療法は、Aさんの状態を改善する効果がどのくらいあると思いますか。あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

	効果がある	効果がない	悪影響がある	どんな影響があるかわからない	この言葉を知らない
a. 栄養ドリンクやサプリメント	1	2	3	8	9
b. 抗うつ薬	1	2	3	8	9
c. 睡眠薬	1	2	3	8	9
d. 抗精神病薬	1	2	3	8	9
e. 鎮痛剤	1	2	3	8	9
f. 精神科病棟への入院	1	2	3	8	9
g. 一般病棟への入院	1	2	3	8	9
h. 電気けいれん療法	1	2	3	8	9
i. 心理カウンセリング	1	2	3	8	9
j. 療育・教育	1	2	3	8	9
k. 催眠療法	1	2	3	8	9

資料 2

6) Aさんが専門家の援助を受けてこの状態に対処しようとする場合、以下の専門家はどのくらい助けになると思いますか。あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

	助けになる	助けにならない	悪影響がある	どんな影響があるかわからない	この言葉を知らない
a. かかりつけの医師 (家庭医)	1	2	3	8	9
b. 精神科医	1	2	3	8	9
c. 心理カウンセラー	1	2	3	8	9
d. ソーシャルワーカー	1	2	3	8	9
e. 電話相談 (いのちの電話など)	1	2	3	8	9
f. その他の療法家 (鍼灸, 指圧, 整体, マッサージなど)	1	2	3	8	9

7) あなたや家族がAさんと同じような状態になった時を想像してください。この状態について情報を得るには、何から情報を得ますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                           |                |            |
|---------------------------|----------------|------------|
| 1. テレビ                    | 2. 新聞          | 3. 雑誌      |
| 4. ラジオ                    | 5. 本           | 6. インターネット |
| 7. かかりつけ医 (家庭医)           | 8. 精神科医        |            |
| 9. 職場, 地域, 学校等の健康管理スタッフ   | 10. 家族, 友人, 知人 |            |
| 11. 保健所などの公的な相談機関         |                |            |
| 12. カウンセリングセンターなどの民間の相談機関 |                |            |
| 13. 情報を得たいと思わない           |                |            |

資料 2

8) あなたは、A さんと同じような状態の人は日本にどのぐらい存在すると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 約 10,000 人に 1 人以下 (約 0.01%以下)	2. 約 1,000 人に 1 人 (約 0.1%)	3. 約 100 人に 1 人 (約 1%)
4. 約 20 人に 1 人 (約 5%)	5. 約 10 人に 1 人 (約 10%)	6. 約 5 人に 1 人以上 (約 20%以上)

9) あなたは、あなたがこれから先の人生でAさんと同じような状態を経験する可能性はどの程度あると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 非常に高い	2. 高い	3. どちらとも言えない
4. 低い	5. 非常に低い	6. まったくない

10) あなたは、家族や親しい友人の少なくとも一人がAさんと同じような状態を経験する可能性はどの程度あると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 非常に高い	2. 高い	3. どちらとも言えない
4. 低い	5. 非常に低い	6. まったくない

資料 2

1 1) Aさんに対するあなたのイメージや考え方についてお聞きします。どちらでもない場合を4として、あなたのイメージや考え方に最も近いものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。あまり深く考えないで直感でお答えください。

a) 怒りを感じる	1 2 3 4 5 6 7	怒りを感じない
b) 完治しない	1 2 3 4 5 6 7	完治する
c) 危険な	1 2 3 4 5 6 7	安全な
d) きたない	1 2 3 4 5 6 7	きれいな
e) 気の毒でない	1 2 3 4 5 6 7	気の毒だ
f) こわい	1 2 3 4 5 6 7	こわくない
g) 支援したくない	1 2 3 4 5 6 7	支援したい
h) 責任がある	1 2 3 4 5 6 7	責任がない
i) 先天性の	1 2 3 4 5 6 7	後天性の
j) 怠惰な	1 2 3 4 5 6 7	勤勉な
k) 男性の	1 2 3 4 5 6 7	女性の
l) 治療しても改善しない	1 2 3 4 5 6 7	治療すれば改善する
m) 入院生活	1 2 3 4 5 6 7	地域生活
n) 話しかけにくい	1 2 3 4 5 6 7	話しかけやすい
o) 非難されるべき	1 2 3 4 5 6 7	非難されるべきでない
p) まれな	1 2 3 4 5 6 7	よくある
q) 無知な	1 2 3 4 5 6 7	知的な
r) 予測できない	1 2 3 4 5 6 7	予測できる

資料 2

1 2) 下記にあげたそれぞれの事柄について、1~4のうち、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

	とてもそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
a) もしAさんのような状態の人が同じ職場にいたら、Aさんの仕事が終わるまで毎日仕事を手伝う	1	2	3	4
b) もし自分がAさんのような状態になったとしても、少しもイヤではない	1	2	3	4
c) Aさんのような状態になったことのある人とは付き合いたくない	1	2	3	4
d) Aさんのような状態になったことのある人は避けたい	1	2	3	4
e) Aさんのような状態になったことのある人が運転するタクシーには乗りたくない	1	2	3	4
f) Aさんのような状態になったことのある教師は、学校で教えることを許可されるべきではない	1	2	3	4
g) Aさんのような状態になったことのある人は、公務員職から外されるべきだ	1	2	3	4
h) Aさんのような状態になったことのある人は雇いたくない	1	2	3	4
i) Aさんのような状態になったことのある人と一緒に働きたくない	1	2	3	4
j) Aさんのような状態になったことのある人と自分の子どもを、絶対に結婚させたくない	1	2	3	4
k) Aさんのような状態になったことのある人の隣には住みたくない	1	2	3	4
l) Aさんのような状態になったことのある人は地域のその他の人々から隔離されるべきだ	1	2	3	4
m) Aさんのような状態は、その他の病気と同じようなものだ	1	2	3	4

C. 下記の太線で囲まれた文章を読んで、以下の1) から7) までの質問にお答えください。

Bさんは、40歳です。先日の健康診断の結果、血糖値の異常を指摘され、検査のために受診を勧められました。

Bさん自身は、特に体の調子が悪いわけでないため、受診に乗り気ではありませんでした。しかし、家族からも受診を促されたため、後日病院で検査を受けました。

検査の結果、空腹時およびブドウ糖を摂取して二時間後の血糖値がともに高すぎるとのことでした。

1) あなたは、Bさんにはどのような問題があると思いますか。最も適切に問題を表現していると思うものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 問題なし	2. 高血圧	3. がん	4. 糖尿病
5. うつ病	6. 統合失調症	7. 神経症	8. 自閉症
9. アルコール依存	10. 精神疾患	11. 知的障害	12. 発達障害
13. ストレス	14. こころの病気	15. からだの病気	
98. わからない	99. その他 ( )		

2) あなたは、Bさんの状態の原因は何だと思いますか。あなたが原因と考えるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 感染症	2. アレルギー	3. ストレス	4. 遺伝
5. 本人の性格	6. 親の育て方	7. 出生時のトラブル	
8. 食生活	9. タバコ	10. アルコール (お酒)	
11. 運動不足	12. 睡眠の問題	13. 脳の異常	14. 気の持ちよう
15. 最近経験したショックな出来事		16. 社会環境	
17. 原因は特にない		98. わからない	
99. その他 ( )			



資料 2

5) あなたは、B さんと同じような状態の人は日本にどのぐらい存在すると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 約 10,000 人に 1 人以下 (約 0.01%以下)	2. 約 1,000 人に 1 人 (約 0.1%)	3. 約 100 人に 1 人 (約 1%)
4. 約 20 人に 1 人 (約 5%)	5. 約 10 人に 1 人 (約 10%)	6. 約 5 人に 1 人以上 (約 20%以上)

6) あなたは、あなたがこれから先の人生でBさんと同じような状態を経験する可能性はどの程度あると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 非常に高い	2. 高い	3. どちらともいえない
4. 低い	5. 非常に低い	6. まったくない

7) あなたは、家族や親しい友人の少なくとも一人がBさんと同じような状態を経験する可能性はどの程度あると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 非常に高い	2. 高い	3. どちらともいえない
4. 低い	5. 非常に低い	6. まったくない



資料 2

b) 精神疾患を自分の問題として考えていますか。

- |              |            |              |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 考えている     | 2. やや考えている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり考えていない | 5. 考えていない  |              |

c) 精神疾患の予防には、ストレスにうまく対処し、ストレスをできるだけ減らす生活を心がけることが必要だと思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

d) あなたのこころの不調に早い段階で気づくことが大事だと思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

e) 不眠や不安などの症状が出ておかしいと思ったら専門家に相談しようと思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

f) 精神疾患にかかった場合、病気を正しく理解し、焦らず時間をかけて克服しようと思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

g) 精神疾患にかかった場合、家族や周囲の過干渉、非難は回復を遅らせると思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

h) 精神疾患は早期に適切な治療や支援を受ければ多くは改善すると思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

i) こころの健康や精神疾患について理解を深めることのできる市民講座などがあれば参加しようと思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

j) 精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気だと思いますか。

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |              |

資料 2

7) うつ病について質問します。以下の a) から e) それぞれについて、うつ病にかかりやすいと思うかどうかをお答えください。

a) 働き盛りの男性

1. かかりやすい	2. かかりにくい	3. そうでない人と違いはない
-----------	-----------	-----------------

b) 産褥期（出産後およそ 6 から 8 週間）の女性

1. かかりやすい	2. かかりにくい	3. そうでない人と違いはない
-----------	-----------	-----------------

c) 退職後の男性

1. かかりやすい	2. かかりにくい	3. そうでない人と違いはない
-----------	-----------	-----------------

d) 更年期の女性

1. かかりやすい	2. かかりにくい	3. そうでない人と違いはない
-----------	-----------	-----------------

e) 女性

1. かかりやすい	2. かかりにくい	3. 男性と違いはない
-----------	-----------	-------------

8) 「精神障害」「精神病」「精神疾患」「こころの病」という言葉の印象についてお伺いします。これら 4 つの言葉のうち、あなたが重症であると感じる順に 1 から 4 の順番をつけて、下の ( ) に書いてください。また、あなたがそのように呼ばれるとしたら、受け入れやすい（抵抗がない）と感じる順に 1 から 4 の順番をつけて、下の ( ) に書いてください。

a) 重症であると感じる順番	b) 受け入れやすいと感じる順番
精神障害 ( )	精神障害 ( )
精神病 ( )	精神病 ( )
精神疾患 ( )	精神疾患 ( )
こころの病 ( )	こころの病 ( )

以上で全ての質問は終わりです。ご協力に深く感謝申し上げます。

## 1. 統合失調症

Aさんは23歳です。どちらかといえばおとなしい性格で、これまで  
学業や人間関係において大きな問題をおこすことはありませんでした。  
昨年大学を卒業し、会社に就職しました。入社してまもなく、仕事  
のことで上司に叱られて落ち込むことが何度かありました。また、就職  
を機にはじめた一人暮らしに慣れずに生活が乱れたこともあり、Aさんは  
よく眠れなくなってしまいました。次第に仕事の能率が悪くなり、周りの  
人々が自分によそよそしいと感じるようになりました。

数カ月すると、一人で部屋にいるとAさんの悪口がどこからともなく聞  
こえてくるようになりました。また、誰かに見張られていると思ひ込み、  
盗聴器が備え付けられていないか部屋中を探し回るなどの行動がみられ  
ました。実際はそのような事実はないのですが、Aさんは強く信じて疑  
いません。会社でも、自分がミスをする度にそれをからかったり、指図し  
たりする声が聞こえてくるので、Aさんは会社の皆から馬鹿にされている  
のだと思ひこみ、仕事の能率もさらに悪くなってきたので、会社を辞め  
てしまいました。

最近では部屋の中はひどくちらかっていて、同じ服を何日も着ている  
ことがあります。本人は気にしていません。

なお、Aさんはこれまで違法な薬物を使用した経験はありません。

## 2. 大うつ病性障害

Aさんは、34歳です。Aさんはこの数週間、特に理由はないのにこれまで経験したことがないほどの気分の落ち込みを感じています。これまで週末には必ずといっていいほど行っていたテニスも以前ほど楽しみに感じなくなり、ここ数週間は家でぼんやりとしています。

Aさんは仕事でいつも疲れているのに、ほぼ毎晩よく眠れませんが、朝は早めに目が覚めてしまいます。会社が休みの日でも変わりません。食欲もあまりおきず、体重が減少してきています。

Aさんの仕事は事務仕事ですが、ここ最近はいくつかの事務処理が遅れており、他の部署からの催促もしばしばあります。上司もAさんの仕事が以前ほどはかどっていないことに気づき心配しています。しかし、Aさんはたまった仕事をすすめなくてほとは焦りを感じているものの、仕事に取りかかることがなかなかできません。

会社から帰ってくると、自分を責めたり、情けなくなつて涙がこぼれます。自分が人に迷惑をかけていると思い、いっそ自分がいなくなれば、会社も新しい人を雇えるし、それが一番良いのではないのかと思うようになりました。

### 3. 広汎性発達障害

Aさんは33歳です。Aさんの子どもCちゃんは3歳になりましたが、ほとんど言葉を話しません。また、指さしや身ぶり、表情を使って訴えることがなく、ドアを開けたいなどの要求がある時には、大人の手をつかんでやらせようとしています。

Cちゃんは幼稚園に通っていますが、先生や友達には興味がないようで、いつも一人で大好きな電車のおもちゃを走らせるばかりで、幼稚園の先生と一緒に遊ぼうとすると、先生の手を払いのけて嫌がります。

また、Cちゃんは家の前にあるマンホールのフタにこだわり、毎朝必ずそれを踏んでから幼稚園に出かけています。ある朝マンホールの上にくるまが止まっていると、踏めないからと大泣きして登園を嫌がりました。

AさんはこのようなCちゃんの様子について、とても心配しています。

## 4. アルコール依存

Aさんは、45歳です。もともとはお酒が弱く、誘われた時に飲む程度で、それも缶ビール(350ml)2本で酔いつぶれてしまうほどでした。しかし15年ほど前に対人関係の悩みから毎日お酒を飲むようになり、10年ほど前からは一晩で焼酎1本(720ml)を飲んでしまいます。2,3年前から、友人とお酒を飲んだ翌日に、飲酒中のことを覚えていないことを指摘されることが増えました。妻からは酒量を減らすように何度も言われていますが、できません。

帰宅してお酒がなかった時には、せっかくだから今日は飲まない日にしようと思うのですが、やはり落ち着かず、買いにいきます。近くの店は早い時間に閉まるので、隣町のスーパーまで行かなければならないこともしばしばです。また、仕事が長引いてお酒が飲めなかったとき、いやな気分になり、汗が出てきて手が震えだしました。帰宅途中にビールを飲んだら汗や手の震えはおさまりました。

最近では仕事に集中できず、うっかりミスが多くなり、仕事が遅れがちです。上司には「Aさん、いつも二日酔いみたいだけど大丈夫？」とよく冗談めかして言われます。自分でも次の日に残らないような量で終わらせようと思っているのですが、結局は帰宅してから深夜まで飲んでいます。そのために翌朝起きることが出来ず、遅刻することもあります。これではいけないと思うのですが、お酒を減らせません。休日には、昼間から手元にお酒を置いて飲んでいきます。

表1		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
調査地域(調査地域内の調査対象自治体[調査地点数])	道央(札幌市[5], 旭川市[5])	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	東京(東京23区[4], 東京多摩地域[1]さいたま市[2], 川口市[1])	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	京浜(横浜市[7], 川崎市[3])	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	京阪(大阪市[5], 堺市[2], 東大阪市[1]八幡市[1], 京都市[1])	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	山陽(広島市[5], 岡山市[4], 倉敷市[1])	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表2		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
A.1) 性別	男性	250	50.0%	250	50.0%	250	50.0%	250	50.0%	1,000	50.0%
	女性	250	50.0%	250	50.0%	250	50.0%	250	50.0%	1,000	50.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表3		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
A.2) 年齢	20歳代	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	30歳代	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	40歳代	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	50歳代	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	60歳代	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	100	20.0%	400	20.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表4		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
A.3) 最終学歴	中卒	28	5.6%	48	9.6%	33	6.6%	37	7.4%	146	7.3%
	高卒	228	45.6%	210	42.0%	228	45.6%	233	46.6%	899	45.0%
	短大・専門学校卒	117	23.4%	111	22.2%	104	20.8%	101	20.2%	433	21.7%
	大卒以上	114	22.8%	113	22.6%	113	22.6%	114	22.8%	454	22.7%
	在学中	13	2.6%	18	3.6%	22	4.4%	15	3.0%	68	3.4%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表5		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
A.4) 現在の自身の位置	1(最低の暮らし)	4	0.8%	3	0.6%	3	0.6%	2	0.4%	12	0.6%
	2	6	1.2%	6	1.2%	4	0.8%	2	0.4%	18	0.9%
	3	33	6.6%	36	7.2%	32	6.4%	32	6.4%	133	6.7%
	4	53	10.6%	79	15.8%	74	14.8%	74	14.8%	280	14.0%
	5	157	31.4%	158	31.6%	167	33.4%	166	33.2%	648	32.4%
	6	118	23.6%	115	23.0%	118	23.6%	113	22.6%	464	23.2%
	7	83	16.6%	72	14.4%	74	14.8%	67	13.4%	296	14.8%
	8	37	7.4%	23	4.6%	24	4.8%	37	7.4%	121	6.1%
	9	6	1.2%	6	1.2%	2	0.4%	6	1.2%	20	1.0%
	10(最高の暮らし)	3	0.6%	2	0.4%	2	0.4%	1	0.2%	8	0.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表6	割り付けピネット										
	統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病		
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
B.1) 想定できる問題	問題なし	2	0.4%	4	0.8%	38	7.6%	1	0.2%	14	0.7%
	高血圧	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	91	4.6%
	がん	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
	糖尿病	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%	1,749	87.5%
	うつ病	193	38.6%	293	58.6%	2	0.4%	6	1.2%	2	0.1%
	統合失調症	24	4.8%	7	1.4%	2	0.4%	0	0.0%	2	0.1%
	神経症	32	6.4%	4	0.8%	13	2.6%	1	0.2%	0	0.0%
	自閉症	9	1.8%	1	0.2%	229	45.8%	0	0.0%	0	0.0%
	アルコール依存	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	425	85.0%	8	0.4%
	精神疾患	54	10.8%	17	3.4%	11	2.2%	6	1.2%	0	0.0%
	知的障害	0	0.0%	0	0.0%	38	7.6%	0	0.0%	0	0.0%
	発達障害	1	0.2%	0	0.0%	71	14.2%	0	0.0%	1	0.1%
	ストレス	70	14.0%	87	17.4%	18	3.6%	38	7.6%	24	1.2%
	こころの病気	107	21.4%	77	15.4%	57	11.4%	21	4.2%	2	0.1%
	からだの病気	0	0.0%	4	0.8%	1	0.2%	0	0.0%	24	1.2%
	わからない	3	0.6%	4	0.8%	17	3.4%	1	0.2%	78	3.9%
	その他	5	1.0%	1	0.2%	2	0.4%	0	0.0%	4	0.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表7		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.2) 状態の原因 (複数回答:3つまで可) (各n=500, 糖尿病のみ n=2000)	感染症	0	0.0%	2	0.4%	5	1.0%	0	0.0%	7	0.4%
	アレルギー	2	0.4%	1	0.2%	4	0.8%	1	0.2%	7	0.4%
	ストレス	402	80.4%	426	85.2%	111	22.2%	423	84.6%	570	28.5%
	遺伝	7	1.4%	10	2.0%	78	15.6%	8	1.6%	747	37.4%
	本人の性格	337	67.4%	287	57.4%	172	34.4%	286	57.2%	102	5.1%
	親の育て方	45	9.0%	15	3.0%	174	34.8%	7	1.4%	25	1.3%
	出生時のトラブル	1	0.2%	1	0.2%	109	21.8%	0	0.0%	2	0.1%
	食生活	13	2.6%	13	2.6%	9	1.8%	29	5.8%	1,760	88.0%
	タバコ	1	0.2%	3	0.6%	2	0.4%	7	1.4%	180	9.0%
	アルコール(お酒)	4	0.8%	6	1.2%	3	0.6%	313	62.6%	701	35.1%
	運動不足	9	1.8%	35	7.0%	6	1.2%	22	4.4%	1,240	62.0%
	睡眠の問題	81	16.2%	101	20.2%	14	2.8%	16	3.2%	45	2.3%
	脳の異常	10	2.0%	15	3.0%	193	38.6%	5	1.0%	3	0.2%
	気もちよう	204	40.8%	182	36.4%	35	7.0%	113	22.6%	19	1.0%
	最近経験したショックな出来事	90	18.0%	67	13.4%	42	8.4%	22	4.4%	7	0.4%
	社会環境	206	41.2%	191	38.2%	69	13.8%	132	26.4%	76	3.8%
	原因は特にない	1	0.2%	3	0.6%	29	5.8%	0	0.0%	7	0.4%
	わからない	3	0.6%	6	1.2%	36	7.2%	3	0.6%	52	2.6%
その他	6	1.2%	8	1.6%	11	2.2%	6	1.2%	3	0.2%	

表8		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.3)a 状態推移 専門家の援助を受けた場合	まったく問題ない状態に回復する	117	23.4%	136	27.2%	93	18.6%	79	15.8%	464	23.2%
	生活上の支障がない程度までは回復する	285	57.0%	264	52.8%	234	46.8%	273	54.6%	1,235	61.8%
	回復はするが、生活上の支障が残る	69	13.8%	68	13.6%	136	27.2%	114	22.8%	246	12.3%
	変化なし	20	4.0%	21	4.2%	31	6.2%	17	3.4%	28	1.4%
	悪化する	9	1.8%	11	2.2%	6	1.2%	17	3.4%	27	1.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表9		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.3)b 状態推移 専門家の援助を受けなかった場合	まったく問題ない状態に回復する	6	1.2%	13	2.6%	31	6.2%	2	0.4%	21	1.1%
	生活上の支障がない程度までは回復する	37	7.4%	50	10.0%	64	12.8%	9	1.8%	127	6.4%
	回復はするが、生活上の支障が残る	52	10.4%	57	11.4%	100	20.0%	36	7.2%	167	8.4%
	変化なし	83	16.6%	73	14.6%	138	27.6%	55	11.0%	161	8.1%
	悪化する	322	64.4%	307	61.4%	167	33.4%	398	79.6%	1,524	76.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表10		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.4) 適切な対処方法 (複数回答:3つまで可) (各n=500, 糖尿病のみ n=2000)	お酒を飲む/飲物を飲ませる	5	1.0%	16	3.2%	1	0.2%	0	0.0%	6	0.3%
	栄養ドリンクやサプリメントを飲む/飲ませる	1	0.2%	5	1.0%	0	0.0%	5	1.0%	51	2.6%
	市販薬を服用する/させる	3	0.6%	1	0.2%	2	0.4%	4	0.8%	56	2.8%
	リラクゼーション、ヨガ、マッサージなど	57	11.4%	91	18.2%	8	1.6%	40	8.0%	126	6.3%
	外出を増やす	104	20.8%	80	16.0%	184	36.8%	38	7.6%	190	9.5%
	休息する/させる	153	30.6%	224	44.8%	32	6.4%	108	21.6%	272	13.6%
	積極的に体を動かす	184	36.8%	151	30.2%	125	25.0%	257	51.4%	1,575	78.8%
	宗教的な援助を求める	5	1.0%	5	1.0%	4	0.8%	4	0.8%	4	0.2%
	周りの人に相談する	245	49.0%	198	39.6%	116	23.2%	128	25.6%	199	10.0%
	家庭医に相談する	87	17.4%	102	20.4%	122	24.4%	175	35.0%	1,688	84.4%
	精神保健の専門家に相談する	345	69.0%	319	63.8%	304	60.8%	321	64.2%	111	5.6%
	保健所などの公的な窓口相談する	25	5.0%	20	4.0%	111	22.2%	26	5.2%	102	5.1%
	電話相談	15	3.0%	12	2.4%	9	1.8%	4	0.8%	6	0.3%
	同じ状態を抱える人たちの集まりに参加する	125	25.0%	97	19.4%	246	49.2%	195	39.0%	188	9.4%
	自分の力で対処するよう努力する	69	13.8%	73	14.6%	31	6.2%	100	20.0%	577	28.9%
	この状態についての情報を集める	37	7.4%	56	11.2%	133	26.6%	53	10.6%	448	22.4%
	わからない	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	2	0.4%	12	0.6%
	その他	3	0.6%	2	0.4%	7	1.4%	4	0.8%	71	3.6%

表11		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)a 栄養ドリンクやサプリメント	効果ある	38	7.6%	59	11.8%	10	2.0%	31	6.2%
	効果ない	366	73.2%	349	69.8%	399	79.8%	369	73.8%
	悪影響がある	5	1.0%	4	0.8%	7	1.4%	5	1.0%
	どんな影響があるかわからない	91	18.2%	88	17.6%	84	16.8%	95	19.0%
	この言葉を知らない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表12		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)b 抗うつ薬	効果ある	249	49.8%	264	52.8%	40	8.0%	122	24.4%
	効果ない	53	10.6%	49	9.8%	181	36.2%	114	22.8%
	悪影響がある	39	7.8%	43	8.6%	101	20.2%	59	11.8%
	どんな影響があるかわからない	147	29.4%	132	26.4%	168	33.6%	197	39.4%
	この言葉を知らない	12	2.4%	12	2.4%	10	2.0%	8	1.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表13		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)c 睡眠薬	効果ある	170	34.0%	167	33.4%	11	2.2%	70	14.0%
	効果ない	122	24.4%	111	22.2%	243	48.6%	162	32.4%
	悪影響がある	78	15.6%	96	19.2%	151	30.2%	140	28.0%
	どんな影響があるかわからない	130	26.0%	125	25.0%	94	18.8%	128	25.6%
	この言葉を知らない	0	0.0%	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表14		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)d 抗精神病薬	効果ある	146	29.2%	121	24.2%	47	9.4%	94	18.8%
	効果ない	50	10.0%	57	11.4%	141	28.2%	92	18.4%
	悪影響がある	45	9.0%	59	11.8%	93	18.6%	65	13.0%
	どんな影響があるかわからない	176	35.2%	193	38.6%	176	35.2%	187	37.4%
	この言葉を知らない	83	16.6%	70	14.0%	43	8.6%	62	12.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表15		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)e 鎮痛剤	効果ある	7	1.4%	16	3.2%	9	1.8%	11	2.2%
	効果ない	308	61.6%	297	59.4%	291	58.2%	301	60.2%
	悪影響がある	56	11.2%	67	13.4%	98	19.6%	69	13.8%
	どんな影響があるかわからない	127	25.4%	120	24.0%	101	20.2%	119	23.8%
	この言葉を知らない	2	0.4%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表16		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)f 精神科病棟への入院	効果ある	165	33.0%	114	22.8%	54	10.8%	220	44.0%
	効果ない	79	15.8%	96	19.2%	174	34.8%	84	16.8%
	悪影響がある	87	17.4%	104	20.8%	107	21.4%	64	12.8%
	どんな影響があるかわからない	167	33.4%	186	37.2%	165	33.0%	132	26.4%
	この言葉を知らない	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表17		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)g 一般病棟への入院	効果ある	47	9.4%	64	12.8%	36	7.2%	176	35.2%
	効果ない	252	50.4%	228	45.6%	276	55.2%	174	34.8%
	悪影響がある	47	9.4%	52	10.4%	61	12.2%	25	5.0%
	どんな影響があるかわからない	154	30.8%	156	31.2%	127	25.4%	125	25.0%
	この言葉を知らない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表18		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)h 電気けいれん療法	効果ある	5	1.0%	5	1.0%	3	0.6%	3	0.6%
	効果ない	146	29.2%	147	29.4%	168	33.6%	120	24.0%
	悪影響がある	57	11.4%	60	12.0%	117	23.4%	62	12.4%
	どんな影響があるかわからない	160	32.0%	145	29.0%	127	25.4%	177	35.4%
	この言葉を知らない	132	26.4%	143	28.6%	85	17.0%	138	27.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表19		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)i 心理カウンセリング	効果ある	463	92.6%	440	88.0%	408	81.6%	432	86.4%
	効果ない	14	2.8%	20	4.0%	45	9.0%	32	6.4%
	悪影響がある	3	0.6%	4	0.8%	2	0.4%	1	0.2%
	どんな影響があるかわからない	19	3.8%	36	7.2%	44	8.8%	35	7.0%
	この言葉を知らない	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表20		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)j 療育・教育	効果ある	239	47.8%	214	42.8%	395	79.0%	282	56.4%
	効果ない	82	16.4%	98	19.6%	48	9.6%	92	18.4%
	悪影響がある	8	1.6%	2	0.4%	1	0.2%	3	0.6%
	どんな影響があるかわからない	153	30.6%	171	34.2%	50	10.0%	109	21.8%
	この言葉を知らない	18	3.6%	15	3.0%	6	1.2%	14	2.8%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表21		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.5)k 催眠療法	効果ある	139	27.8%	116	23.2%	53	10.6%	112	22.4%
	効果ない	99	19.8%	118	23.6%	205	41.0%	129	25.8%
	悪影響がある	16	3.2%	17	3.4%	17	3.4%	6	1.2%
	どんな影響があるかわからない	237	47.4%	244	48.8%	220	44.0%	247	49.4%
	この言葉を知らない	9	1.8%	5	1.0%	5	1.0%	6	1.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表22		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.6)a 家庭医	助けになる	323	64.6%	328	65.6%	356	71.2%	379	75.8%
	助けにならない	114	22.8%	113	22.6%	94	18.8%	67	13.4%
	悪影響がある	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%
	どんな影響があるかわからない	62	12.4%	59	11.8%	48	9.6%	54	10.8%
	この言葉を知らない	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表23		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.6)b 精神科医	助けになる	429	85.8%	398	79.6%	374	74.8%	388	77.6%
	助けにならない	33	6.6%	34	6.8%	61	12.2%	39	7.8%
	悪影響がある	3	0.6%	12	2.4%	8	1.6%	11	2.2%
	どんな影響があるか分からない	35	7.0%	56	11.2%	57	11.4%	62	12.4%
	この言葉を知らない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表24		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.6)c 心理カウンセラー	助けになる	461	92.2%	454	90.8%	439	87.8%	439	87.8%
	助けにならない	14	2.8%	11	2.2%	29	5.8%	21	4.2%
	悪影響がある	1	0.2%	3	0.6%	1	0.2%	0	0.0%
	どんな影響があるか分からない	23	4.6%	30	6.0%	30	6.0%	38	7.6%
	この言葉を知らない	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%	2	0.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表25		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.6)d ソーシャルワーカー	助けになる	194	38.8%	171	34.2%	231	46.2%	216	43.2%
	助けにならない	66	13.2%	73	14.6%	70	14.0%	55	11.0%
	悪影響がある	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%	3	0.6%
	どんな影響があるか分からない	139	27.8%	158	31.6%	107	21.4%	133	26.6%
	この言葉を知らない	100	20.0%	96	19.2%	91	18.2%	93	18.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表26		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.6)e 電話相談	助けになる	217	43.4%	211	42.2%	215	43.0%	181	36.2%
	助けにならない	120	24.0%	128	25.6%	156	31.2%	169	33.8%
	悪影響がある	2	0.4%	4	0.8%	4	0.8%	2	0.4%
	どんな影響があるか分からない	157	31.4%	155	31.0%	124	24.8%	144	28.8%
	この言葉を知らない	4	0.8%	2	0.4%	1	0.2%	4	0.8%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表27		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.6)f その他の療法医	助けになる	83	16.6%	130	26.0%	38	7.6%	99	19.8%
	助けにならない	241	48.2%	192	38.4%	312	62.4%	224	44.8%
	悪影響がある	2	0.4%	6	1.2%	8	1.6%	4	0.8%
	どんな影響があるか分からない	171	34.2%	169	33.8%	141	28.2%	172	34.4%
	この言葉を知らない	3	0.6%	3	0.6%	1	0.2%	1	0.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表28		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.7) 情報入手経路 (複数回答:3つまで可) (各n=500)	テレビ	66	13.2%	76	15.2%	50	10.0%	66	13.2%
	新聞	33	6.6%	34	6.8%	21	4.2%	42	8.4%
	雑誌	26	5.2%	30	6.0%	22	4.4%	29	5.8%
	ラジオ	3	0.6%	7	1.4%	4	0.8%	4	0.8%
	本	148	29.6%	164	32.8%	129	25.8%	122	24.4%
	インターネット	251	50.2%	233	46.6%	248	49.6%	229	45.8%
	家庭医	131	26.2%	160	32.0%	185	37.0%	208	41.6%
	精神科医	188	37.6%	157	31.4%	126	25.2%	148	29.6%
	健康管理スタッフ	68	13.6%	79	15.8%	79	15.8%	63	12.6%
	家族、友人、知人	231	46.2%	252	50.4%	149	29.8%	189	37.8%
	公的な相談機関	91	18.2%	72	14.4%	225	45.0%	138	27.6%
	民間の相談機関	193	38.6%	158	31.6%	194	38.8%	208	41.6%
	情報を得たいと思わない	2	0.4%	2	0.4%	1	0.2%	4	0.8%

表29		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.8) 日本における同じような状態の人の出現率	約0.01%	25	5.0%	20	4.0%	67	13.4%	40	8.0%	38	1.9%
	約0.1%	127	25.4%	95	19.0%	164	32.8%	153	30.6%	298	14.9%
	約1%	220	44.0%	222	44.4%	208	41.6%	210	42.0%	779	39.0%
	約5%	82	16.4%	96	19.2%	33	6.6%	67	13.4%	509	25.5%
	約10%	32	6.4%	46	9.2%	18	3.6%	18	3.6%	277	13.9%
	約20%以上	14	2.8%	21	4.2%	10	2.0%	12	2.4%	99	5.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表30		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.9) 自分が同じ様な状態を経験する可能性は	非常に高い	9	1.8%	19	3.8%	13	2.6%	11	2.2%	138	6.9%
	高い	73	14.6%	123	24.6%	60	12.0%	59	11.8%	715	35.8%
	どちらとも言えない	116	23.2%	135	27.0%	111	22.2%	52	10.4%	406	20.3%
	低い	146	29.2%	128	25.6%	128	25.6%	128	25.6%	479	24.0%
	非常に低い	92	18.4%	61	12.2%	107	21.4%	106	21.2%	171	8.6%
	まったくない	64	12.8%	34	6.8%	81	16.2%	144	28.8%	91	4.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表31		割り付けピネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		糖尿病	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.10) 家族や親しい友人が経験する可能性は	非常に高い	31	6.2%	40	8.0%	29	5.8%	27	5.4%	254	12.7%
	高い	146	29.2%	207	41.4%	120	24.0%	124	24.8%	1,000	50.0%
	どちらとも言えない	128	25.6%	121	24.2%	108	21.6%	73	14.6%	322	16.1%
	低い	121	24.2%	96	19.2%	145	29.0%	146	29.2%	294	14.7%
	非常に低い	51	10.2%	25	5.0%	71	14.2%	85	17.0%	89	4.5%
	まったくない	23	4.6%	11	2.2%	27	5.4%	45	9.0%	41	2.1%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表32		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)a 怒りを感じる←→感じない	1(怒りを感じる)	8	1.6%	7	1.4%	5	1.0%	16	3.2%
	2	15	3.0%	9	1.8%	8	1.6%	42	8.4%
	3	51	10.2%	36	7.2%	35	7.0%	86	17.2%
	4	116	23.2%	93	18.6%	86	17.2%	146	29.2%
	5	65	13.0%	59	11.8%	57	11.4%	80	16.0%
	6	92	18.4%	97	19.4%	74	14.8%	60	12.0%
	7(怒りを感じない)	153	30.6%	199	39.8%	235	47.0%	70	14.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表33		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)b 完治しない←→する	1(完治しない)	13	2.6%	14	2.8%	48	9.6%	18	3.6%
	2	38	7.6%	31	6.2%	41	8.2%	56	11.2%
	3	55	11.0%	48	9.6%	63	12.6%	79	15.8%
	4	66	13.2%	69	13.8%	91	18.2%	89	17.8%
	5	110	22.0%	98	19.6%	95	19.0%	112	22.4%
	6	123	24.6%	121	24.2%	86	17.2%	94	18.8%
	7(完治する)	95	19.0%	119	23.8%	76	15.2%	52	10.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表34		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)c 危険な←→安全な	1(危険な)	33	6.6%	29	5.8%	22	4.4%	91	18.2%
	2	80	16.0%	70	14.0%	41	8.2%	157	31.4%
	3	143	28.6%	130	26.0%	98	19.6%	131	26.2%
	4	143	28.6%	143	28.6%	164	32.8%	74	14.8%
	5	54	10.8%	57	11.4%	75	15.0%	23	4.6%
	6	28	5.6%	49	9.8%	59	11.8%	16	3.2%
	7(安全な)	19	3.8%	22	4.4%	41	8.2%	8	1.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表35		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)d きたない←→きれいな	1(きたない)	13	2.6%	4	0.8%	0	0.0%	21	4.2%
	2	26	5.2%	5	1.0%	5	1.0%	37	7.4%
	3	99	19.8%	21	4.2%	18	3.6%	93	18.6%
	4	256	51.2%	298	59.6%	228	45.6%	289	57.8%
	5	57	11.4%	62	12.4%	71	14.2%	24	4.8%
	6	32	6.4%	57	11.4%	77	15.4%	19	3.8%
	7(きれいな)	17	3.4%	53	10.6%	101	20.2%	17	3.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表36		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)e 気の毒でない←→気の毒だ	1(気の毒でない)	19	3.8%	7	1.4%	25	5.0%	18	3.6%
	2	17	3.4%	10	2.0%	14	2.8%	38	7.6%
	3	30	6.0%	26	5.2%	28	5.6%	48	9.6%
	4	78	15.6%	70	14.0%	96	19.2%	89	17.8%
	5	118	23.6%	122	24.4%	114	22.8%	109	21.8%
	6	138	27.6%	127	25.4%	103	20.6%	116	23.2%
	7(気の毒だ)	100	20.0%	138	27.6%	120	24.0%	82	16.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表37		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)f こわい←→こわくない	1(こわい)	17	3.4%	17	3.4%	12	2.4%	60	12.0%
	2	47	9.4%	34	6.8%	23	4.6%	86	17.2%
	3	85	17.0%	75	15.0%	61	12.2%	114	22.8%
	4	159	31.8%	150	30.0%	127	25.4%	122	24.4%
	5	77	15.4%	70	14.0%	67	13.4%	42	8.4%
	6	48	9.6%	71	14.2%	91	18.2%	43	8.6%
	7(こわくない)	67	13.4%	83	16.6%	119	23.8%	33	6.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表38		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)g 支援したくない←→したい	1(支援したくない)	9	1.8%	10	2.0%	6	1.2%	25	5.0%
	2	20	4.0%	14	2.8%	2	0.4%	28	5.6%
	3	28	5.6%	20	4.0%	14	2.8%	32	6.4%
	4	163	32.6%	135	27.0%	140	28.0%	196	39.2%
	5	122	24.4%	133	26.6%	122	24.4%	117	23.4%
	6	98	19.6%	113	22.6%	100	20.0%	81	16.2%
	7(支援したい)	60	12.0%	75	15.0%	116	23.2%	21	4.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表39		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)h 責任がある←→ない	1(責任がある)	19	3.8%	23	4.6%	26	5.2%	44	8.8%
	2	39	7.8%	23	4.6%	20	4.0%	76	15.2%
	3	62	12.4%	51	10.2%	46	9.2%	77	15.4%
	4	225	45.0%	252	50.4%	211	42.2%	192	38.4%
	5	58	11.6%	61	12.2%	50	10.0%	36	7.2%
	6	57	11.4%	40	8.0%	49	9.8%	37	7.4%
	7(責任がない)	40	8.0%	50	10.0%	98	19.6%	38	7.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表40		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)i 先天性の←→後天性の	1(先天性の)	6	1.2%	8	1.6%	90	18.0%	6	1.2%
	2	33	6.6%	26	5.2%	54	10.8%	15	3.0%
	3	36	7.2%	43	8.6%	76	15.2%	36	7.2%
	4	178	35.6%	180	36.0%	173	34.6%	166	33.2%
	5	68	13.6%	66	13.2%	50	10.0%	62	12.4%
	6	91	18.2%	92	18.4%	35	7.0%	127	25.4%
	7(後天性の)	88	17.6%	85	17.0%	22	4.4%	88	17.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表41		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)j 怠惰な←→勤勉な	1(怠惰な)	4	0.8%	1	0.2%	4	0.8%	30	6.0%
	2	21	4.2%	11	2.2%	9	1.8%	57	11.4%
	3	48	9.6%	32	6.4%	25	5.0%	83	16.6%
	4	186	37.2%	154	30.8%	361	72.2%	185	37.0%
	5	93	18.6%	80	16.0%	63	12.6%	76	15.2%
	6	86	17.2%	117	23.4%	25	5.0%	50	10.0%
	7(勤勉な)	62	12.4%	105	21.0%	13	2.6%	19	3.8%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表42		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)k 男性の←→女性の	1(男性の)	36	7.2%	36	7.2%	16	3.2%	56	11.2%
	2	47	9.4%	39	7.8%	20	4.0%	84	16.8%
	3	63	12.6%	55	11.0%	34	6.8%	93	18.6%
	4	245	49.0%	261	52.2%	363	72.6%	229	45.8%
	5	46	9.2%	49	9.8%	37	7.4%	12	2.4%
	6	34	6.8%	32	6.4%	20	4.0%	23	4.6%
	7(女性の)	29	5.8%	28	5.6%	10	2.0%	3	0.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表43		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)l 治療しても改善しない ←→治療すれば改善する	1(治療しても改善しない)	4	0.8%	6	1.2%	26	5.2%	5	1.0%
	2	13	2.6%	11	2.2%	16	3.2%	19	3.8%
	3	25	5.0%	21	4.2%	31	6.2%	39	7.8%
	4	31	6.2%	31	6.2%	63	12.6%	53	10.6%
	5	96	19.2%	99	19.8%	130	26.0%	89	17.8%
	6	175	35.0%	170	34.0%	140	28.0%	189	37.8%
	7(治療すれば改善する)	156	31.2%	162	32.4%	94	18.8%	106	21.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表44		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)m 入院生活←→地域生活	1(入院生活)	14	2.8%	16	3.2%	5	1.0%	53	10.6%
	2	34	6.8%	25	5.0%	14	2.8%	97	19.4%
	3	69	13.8%	54	10.8%	25	5.0%	112	22.4%
	4	138	27.6%	137	27.4%	101	20.2%	112	22.4%
	5	90	18.0%	100	20.0%	99	19.8%	63	12.6%
	6	101	20.2%	99	19.8%	132	26.4%	49	9.8%
	7(地域生活)	54	10.8%	69	13.8%	124	24.8%	14	2.8%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表45		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)n 話しかけにくい←→やすい	1(話しかけにくい)	37	7.4%	22	4.4%	20	4.0%	58	11.6%
	2	77	15.4%	63	12.6%	41	8.2%	91	18.2%
	3	135	27.0%	131	26.2%	96	19.2%	118	23.6%
	4	165	33.0%	176	35.2%	190	38.0%	156	31.2%
	5	53	10.6%	59	11.8%	81	16.2%	48	9.6%
	6	23	4.6%	37	7.4%	41	8.2%	24	4.8%
	7(話しかけやすい)	10	2.0%	12	2.4%	31	6.2%	5	1.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表46		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)o 非難されるべき←→べきでない	1(非難されるべき)	0	0.0%	2	0.4%	1	0.2%	12	2.4%
	2	1	0.2%	3	0.6%	2	0.4%	20	4.0%
	3	13	2.6%	16	3.2%	7	1.4%	65	13.0%
	4	112	22.4%	87	17.4%	68	13.6%	179	35.8%
	5	87	17.4%	71	14.2%	44	8.8%	83	16.6%
	6	126	25.2%	105	21.0%	103	20.6%	79	15.8%
	7(非難されるべきでない)	161	32.2%	216	43.2%	275	55.0%	62	12.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表47		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)p まれな←→よくある	1(まれな)	5	1.0%	2	0.4%	19	3.8%	6	1.2%
	2	16	3.2%	5	1.0%	34	6.8%	24	4.8%
	3	37	7.4%	32	6.4%	69	13.8%	60	12.0%
	4	102	20.4%	69	13.8%	129	25.8%	118	23.6%
	5	155	31.0%	166	33.2%	140	28.0%	137	27.4%
	6	109	21.8%	124	24.8%	71	14.2%	117	23.4%
	7(よくある)	76	15.2%	102	20.4%	38	7.6%	38	7.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表48		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)q 無知な←→知的な	1(無知な)	5	1.0%	2	0.4%	12	2.4%	12	2.4%
	2	19	3.8%	4	0.8%	15	3.0%	46	9.2%
	3	49	9.8%	30	6.0%	52	10.4%	98	19.6%
	4	269	53.8%	250	50.0%	316	63.2%	273	54.6%
	5	70	14.0%	89	17.8%	61	12.2%	41	8.2%
	6	64	12.8%	83	16.6%	27	5.4%	20	4.0%
	7(知的な)	24	4.8%	42	8.4%	17	3.4%	10	2.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表49		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.11)r 予測できない←→できる	1(予測できない)	40	8.0%	45	9.0%	88	17.6%	24	4.8%
	2	48	9.6%	60	12.0%	67	13.4%	39	7.8%
	3	69	13.8%	67	13.4%	84	16.8%	53	10.6%
	4	164	32.8%	153	30.6%	153	30.6%	153	30.6%
	5	88	17.6%	84	16.8%	66	13.2%	114	22.8%
	6	60	12.0%	58	11.6%	31	6.2%	93	18.6%
	7(予測できる)	31	6.2%	33	6.6%	11	2.2%	24	4.8%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表50		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)a 同じ職場にいたら仕事 が終わるまで毎日手伝う	とてもそう思う	17	3.4%	29	5.8%	32	6.4%	5	1.0%
	ある程度そう思う	294	58.8%	307	61.4%	284	56.8%	210	42.0%
	あまりそう思わない	161	32.2%	139	27.8%	160	32.0%	212	42.4%
	まったくそう思わない	28	5.6%	25	5.0%	24	4.8%	73	14.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表51		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)b 自分が同じ状態になっ たとしても、少しもイヤではない	とてもそう思う	50	10.0%	65	13.0%	53	10.6%	48	9.6%
	ある程度そう思う	103	20.6%	101	20.2%	142	28.4%	63	12.6%
	あまりそう思わない	153	30.6%	154	30.8%	183	36.6%	132	26.4%
	まったくそう思わない	194	38.8%	180	36.0%	122	24.4%	257	51.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表52		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)c 付き合いたくない	とてもそう思う	11	2.2%	12	2.4%	4	0.8%	56	11.2%
	ある程度そう思う	128	25.6%	89	17.8%	48	9.6%	178	35.6%
	あまりそう思わない	272	54.4%	267	53.4%	226	45.2%	218	43.6%
	まったくそう思わない	89	17.8%	132	26.4%	222	44.4%	48	9.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表53		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)d 避けたい	とてもそう思う	16	3.2%	15	3.0%	4	0.8%	51	10.2%
	ある程度そう思う	118	23.6%	99	19.8%	51	10.2%	162	32.4%
	あまりそう思わない	280	56.0%	257	51.4%	222	44.4%	226	45.2%
	まったくそう思わない	86	17.2%	129	25.8%	223	44.6%	61	12.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表54		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)e 運転するタクシーには乗りにたくない	とてもそう思う	242	48.4%	213	42.6%	66	13.2%	335	67.0%
	ある程度そう思う	166	33.2%	166	33.2%	96	19.2%	117	23.4%
	あまりそう思わない	71	14.2%	91	18.2%	166	33.2%	38	7.6%
	まったくそう思わない	21	4.2%	30	6.0%	172	34.4%	10	2.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表55		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)f 学校で教えることを許可されるべきではない	とてもそう思う	147	29.4%	118	23.6%	36	7.2%	209	41.8%
	ある程度そう思う	175	35.0%	206	41.2%	66	13.2%	183	36.6%
	あまりそう思わない	135	27.0%	134	26.8%	167	33.4%	90	18.0%
	まったくそう思わない	43	8.6%	42	8.4%	231	46.2%	18	3.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表56		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)g 公務員職から外されるべきだ	とてもそう思う	72	14.4%	65	13.0%	21	4.2%	137	27.4%
	ある程度そう思う	159	31.8%	148	29.6%	54	10.8%	180	36.0%
	あまりそう思わない	205	41.0%	222	44.4%	171	34.2%	154	30.8%
	まったくそう思わない	64	12.8%	65	13.0%	254	50.8%	29	5.8%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表57		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)h 雇いたくない	とてもそう思う	75	15.0%	70	14.0%	21	4.2%	134	26.8%
	ある程度そう思う	187	37.4%	176	35.2%	66	13.2%	218	43.6%
	あまりそう思わない	196	39.2%	217	43.4%	216	43.2%	126	25.2%
	まったくそう思わない	42	8.4%	37	7.4%	197	39.4%	22	4.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表58		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)i 一緒に働きたくない	とてもそう思う	30	6.0%	33	6.6%	10	2.0%	69	13.8%
	ある程度そう思う	128	25.6%	98	19.6%	44	8.8%	169	33.8%
	あまりそう思わない	264	52.8%	282	56.4%	208	41.6%	220	44.0%
	まったくそう思わない	78	15.6%	87	17.4%	238	47.6%	42	8.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表59		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)j 自分の子供を絶対に結婚させたくない	とてもそう思う	144	28.8%	113	22.6%	47	9.4%	239	47.8%
	ある程度そう思う	189	37.8%	206	41.2%	154	30.8%	178	35.6%
	あまりそう思わない	132	26.4%	141	28.2%	179	35.8%	68	13.6%
	まったくそう思わない	35	7.0%	40	8.0%	120	24.0%	15	3.0%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表60		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)k 隣には住みたくない	とてもそう思う	52	10.4%	42	8.4%	11	2.2%	81	16.2%
	ある程度そう思う	149	29.8%	125	25.0%	79	15.8%	206	41.2%
	あまりそう思わない	224	44.8%	244	48.8%	213	42.6%	179	35.8%
	まったくそう思わない	75	15.0%	89	17.8%	197	39.4%	34	6.8%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表61		割り付けピネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)l 地域の他の人々から隔離されるべきだ	とてもそう思う	6	1.2%	1	0.2%	1	0.2%	12	2.4%
	ある程度そう思う	31	6.2%	31	6.2%	17	3.4%	65	13.0%
	あまりそう思わない	236	47.2%	201	40.2%	161	32.2%	267	53.4%
	まったくそう思わない	227	45.4%	267	53.4%	321	64.2%	156	31.2%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表62		割り付けビネット							
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
B.12)m その他の病気と同じよ うなものだ	とてもそう思う	79	15.8%	99	19.8%	75	15.0%	87	17.4%
	ある程度そう思う	192	38.4%	195	39.0%	135	27.0%	214	42.8%
	あまりそう思わない	152	30.4%	132	26.4%	168	33.6%	152	30.4%
	まったくそう思わない	77	15.4%	74	14.8%	122	24.4%	47	9.4%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%

表63		割り付けビネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
D.1) 精神科・神経科・心療内 科で治療を受けたこと	なし	463	92.6%	468	93.6%	455	91.0%	464	92.8%	1,850	92.5%
	あり	37	7.4%	32	6.4%	45	9.0%	36	7.2%	150	7.5%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表64		割り付けビネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
D.2) 家族や親戚や親しい友 人に精神科・神経科・心療内科 で治療を受けた方	いない	348	69.6%	331	66.2%	336	67.2%	336	67.2%	1,351	67.6%
	いる	152	30.4%	169	33.8%	164	32.8%	164	32.8%	649	32.5%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表65		割り付けビネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
D.3) 保健・医療・福祉の専門 家として精神障害者に関わった 経験	なし	471	94.2%	470	94.0%	468	93.6%	466	93.2%	1,875	93.8%
	あり	29	5.8%	30	6.0%	32	6.4%	34	6.8%	125	6.3%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表66		割り付けビネット									
		統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
D.4) 精神疾患を持つ疑いの ある人が関わった事件を伝える ニュースなどを見たこと	なし	22	4.4%	38	7.6%	34	6.8%	34	6.8%	128	6.4%
	あり	478	95.6%	462	92.4%	466	93.2%	466	93.2%	1,872	93.6%
	合計	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	500	100.0%	2,000	100.0%

表67	割り付けビネット										
	統合失調症		大うつ病性障害		広汎性発達障害		アルコール依存		合計		
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
テレビ	463	92.6%	465	93.0%	463	92.6%	465	93.0%	1,856	92.8%	
新聞	400	80.0%	381	76.2%	384	76.8%	386	77.2%	1,551	77.6%	
雑誌	176	35.2%	179	35.8%	187	37.4%	198	39.6%	740	37.0%	
ラジオ	85	17.0%	84	16.8%	75	15.0%	85	17.0%	329	16.5%	
本	155	31.0%	155	31.0%	155	31.0%	157	31.4%	622	31.1%	
映画	111	22.2%	99	19.8%	124	24.8%	117	23.4%	451	22.6%	
インターネット	117	23.4%	113	22.6%	113	22.6%	98	19.6%	441	22.1%	
専門家の講演や講義	70	14.0%	84	16.8%	72	14.4%	87	17.4%	313	15.7%	
D.5) 情報入手経路 (複数回答: あてはまるものすべて) (各n=500, 合計n=2000)	実際に精神疾患を持つ人と会って話したことがある	106	21.2%	105	21.0%	113	22.6%	99	19.8%	423	21.2%
公的機関で配布・掲示される広報誌やパンフレット	68	13.6%	68	13.6%	84	16.8%	93	18.6%	313	15.7%	
町中などで精神疾患と持つと思われる人を見たことがある	159	31.8%	162	32.4%	189	37.8%	173	34.6%	683	34.2%	
見聞きしたことがない、わからない	8	1.6%	13	2.6%	17	3.4%	12	2.4%	50	2.5%	
その他	5	1.0%	5	1.0%	6	1.2%	2	0.4%	18	0.9%	

表68	度数	%	
D.6)a 「こころの健康」への関心	関心がある	711	35.6%
	やや関心がある	930	46.5%
	あまり関心がない	309	15.5%
	関心がない	50	2.5%
	合計	2,000	100.0%

表69	度数	%	
D.6)b 精神疾患を自分の問題として考えている	考えている	264	13.2%
	やや考えている	580	29.0%
	どちらともいえない	279	14.0%
	あまり考えていない	604	30.2%
	考えていない	273	13.7%
	合計	2,000	100.0%

表70		度数	%
D.6)c ストレスをできるだけ減らす生活を心がけることが必要と思う	そう思う	1,335	66.8%
	ややそう思う	554	27.7%
	どちらともいえない	50	2.5%
	あまりそう思わない	31	1.6%
	そう思わない	30	1.5%
	合計	2,000	100.0%

表71		度数	%
D.6)d ころの体調に早い段階で気付くことが大事だと思う	そう思う	1,464	73.2%
	ややそう思う	460	23.0%
	どちらともいえない	49	2.5%
	あまりそう思わない	15	0.8%
	そう思わない	12	0.6%
	合計	2,000	100.0%

表72		度数	%
D.6)e 不眠や不安などの症状が出ておかしいと思ったら専門家に相談しようと思う	そう思う	604	30.2%
	ややそう思う	708	35.4%
	どちらともいえない	254	12.7%
	あまりそう思わない	336	16.8%
	そう思わない	98	4.9%
	合計	2,000	100.0%

表73		度数	%
D.6)f 精神疾患にかかった場合、病気を正しく理解し、焦らず時間をかけて克服しようと思う	そう思う	1,260	63.0%
	ややそう思う	611	30.6%
	どちらともいえない	79	4.0%
	あまりそう思わない	37	1.9%
	そう思わない	13	0.7%
	合計	2,000	100.0%

表74		度数	%
D.6)g 精神疾患にかかった場合、家族や周囲の過干渉、非難は回復を遅らせると思う	そう思う	1,028	51.4%
	ややそう思う	619	31.0%
	どちらともいえない	189	9.5%
	あまりそう思わない	118	5.9%
	そう思わない	46	2.3%
	合計	2,000	100.0%

表75		度数	%
D.6)h 精神疾患は早期に適切な治療や支援を受ければ多くは改善すると思う	そう思う	1,094	54.7%
	ややそう思う	729	36.5%
	どちらともいえない	122	6.1%
	あまりそう思わない	43	2.2%
	そう思わない	12	0.6%
	合計	2,000	100.0%

表76		度数	%
D.6)i ころの健康や精神疾患について理解を深めることのできる市民講座などがあれば参加しようと思う	そう思う	240	12.0%
	ややそう思う	641	32.1%
	どちらともいえない	428	21.4%
	あまりそう思わない	482	24.1%
	そう思わない	209	10.5%
	合計	2,000	100.0%

表77		度数	%
D.6)j 精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気だと思う	そう思う	927	46.4%
	ややそう思う	719	36.0%
	どちらともいえない	161	8.1%
	あまりそう思わない	148	7.4%
	そう思わない	45	2.3%
	合計	2,000	100.0%

表78		度数	%
D.7)a 働き盛りの男性	かかりやすい	1,245	62.3%
	かかりにくい	297	14.9%
	そうでない人と違いはない	458	22.9%
	合計	2,000	100.0%

表79		度数	%
D.7)b 産褥期の女性	かかりやすい	1,448	72.4%
	かかりにくい	138	6.9%
	そうでない人と違いはない	414	20.7%
	合計	2,000	100.0%

表80		度数	%
D.7)c 退職後の男性	かかりやすい	1,337	66.9%
	かかりにくい	240	12.0%
	そうでない人と違いはない	423	21.2%
	合計	2,000	100.0%

表81		度数	%
D.7)d 更年期の女性	かかりやすい	1,499	75.0%
	かかりにくい	93	4.7%
	そうでない人と違いはない	407	20.4%
	合計	1,999	100.0%

表82		度数	%
D.7)e 女性	かかりやすい	582	29.1%
	かかりにくい	251	12.6%
	男性と違いはない	1,167	58.4%
	合計	2,000	100.0%

表83		度数	%
D.8)a 重症であると感じる順番 精神障害	1位	549	27.5%
	2位	944	47.2%
	3位	446	22.3%
	4位	61	3.1%
	合計	2,000	100.0%

表84		度数	%
D.8)b 重症であると感じる順番 精神病	1位	1,292	64.6%
	2位	420	21.0%
	3位	238	11.9%
	4位	50	2.5%
	合計	2,000	100.0%

表85		度数	%
D.8)c 重症であると感じる順番 精神疾患	1位	93	4.7%
	2位	583	29.2%
	3位	1,237	61.9%
	4位	87	4.4%
	合計	2,000	100.0%

表86		度数	%
D.8)d 重症であると感じる順番 こころの病	1位	66	3.3%
	2位	53	2.7%
	3位	79	4.0%
	4位	1,802	90.1%
	合計	2,000	100.0%

表87		度数	%
D.8)a 受け入れやすいと感じる 順番精神障害	1位	50	2.5%
	2位	436	21.8%
	3位	988	49.4%
	4位	526	26.3%
	合計	2,000	100.0%

表88		度数	%
D.8)b 受け入れやすいと感じる 順番精神病	1位	40	2.0%
	2位	181	9.1%
	3位	443	22.2%
	4位	1,336	66.8%
	合計	2,000	100.0%

表89		度数	%
D.8)c 受け入れやすいと感じる 順番精神疾患	1位	97	4.9%
	2位	1,292	64.6%
	3位	520	26.0%
	4位	91	4.6%
	合計	2,000	100.0%

表90		度数	%
D.8)d 受け入れやすいと感じる 順番こころの病	1位	1,814	90.7%
	2位	92	4.6%
	3位	47	2.4%
	4位	47	2.4%
	合計	2,000	100.0%

---

こころとからだの健康についての国民意識の実態に関する調査  
結果まとめ

発行日 平成 19 年 9 月  
発行者 国立精神・神経センター精神保健研究所 精神保健計画部  
発行所 国立精神・神経センター精神保健研究所 精神保健計画部  
〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1  
TEL:042-341-2712(6209) FAX:042-346-1950

---

本調査は下記研究において実施しました。  
平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)  
「こころの健康についての疫学調査に関する研究」  
平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)  
「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」